
多面的機能支払 メールマガジン
「農村ふるさと保全通信」 第 133 号(2024.2.2)
農林水産省農村振興局 多面的機能支払推進室



高めよう 地域協働の力!

多面的機能支払のメールマガジン「農村ふるさと保全通信」の第133号をお届けします。

-----**第 133 号の目次**-----

1. 活動組織の活動紹介

☆^{たねもり}田根森^{よこて}地区資源保全広域組織（秋田県横手市）☆

19 集落から構成され、土地改良区と連携しながら、農地・農業用施設の保全や農村地域の課題について地域一体で検討し活動計画を立案しています！

☆^{くまだにみどり}熊谷美土里^{えちぜんちやう}保全会（福井県越前町）☆

NPO 法人の提案をきっかけに、大学生や地元高校生と地域住民が、協働で水路の泥上げや獣害対策（雑木の伐採等）等の保全活動を行っています！また、伐採した樹木で「炭づくり」を実施し、地域の伝統文化の復活と伝承に取り組んでいます！

2. 代表者等へのインタビュー

☆^{なんばたじやうこうえん}難波田城公園^{ふじみ}地域環境保全協議会（埼玉県富士見市）☆

子どもが参加するイベントに力を入れたり、地域のラグビークラブと連携して「田んぼラグビー」開催したりすることを通して都市農村交流を図っている活動組織にインタビューを行いました！

3. 活動組織の広報誌紹介

☆^{もりやま}森山^{こもろ}農地保全会（長野県小諸市）☆

総会資料において、文字や数字だけにならないように写真を使用して活動内容を紹介しています！

4. 令和 6 年 2 月～4 月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！

【編集後記】

■ 1. 活動組織の活動紹介(1) ～田根森地区資源保全広域組織(秋田県横手市)～ ■

～ 地区概要 ～

秋田県横手市の西方に位置し、ホップが有名で田園風景が広がる田根森地区で活動しています。

活動範囲は田 694.67ha、畑 51.15ha、農道 62.9km、水路 288.6km です。

～ 主な取組 ～

◎ 本組織は 19 集落から構成され、土地改良区と連携をはかり農地・農業用施設の保全や農村地域の課題について地域一体で検討し活動計画を立案しています。農地維持活動では、非農業者を含めた草刈りや水路の泥上げ、農道の敷砂利などの活動を行い、施設の保全管理に取り組んでいます。

◎ 農業用水路の修繕や整備を地域住民自らが施工することにより、農地・農業用施設の機能を維持向上させ、地域の景観や生態系を保全することで地域資源の保全活動に努めています。

◎ 農村環境保全活動では、景観形成・生活環境保全に取り組む、地域住民で植栽やゴミ拾いを行い、地域コミュニティの活性化や交流の促進、啓発活動を通じて環境保全の意識を高め、持続可能な社会づくりを目指しています。

◎ 「鹿島送り祭り」の伝承を目的に児童や若者を対象に高齢者とお囃子の練習を行うと共に、途絶えつつあった「大注連縄作り」の伝統技術の継承を通して、幅広い年齢層での交流が図られ、地域社会の活性化や連帯感の向上に繋がっています。

◎ 地域資源や文化を守るため、今後も農家だけでなく地域住民と更なる連携を図りながら地域の発展につなげていきたいと思っております。



水路の泥上げ作業



水路の補修作業



植栽の様子



お囃子の練習の様子

編集担当 SDGs コメント 

農業用水路等の修繕や整備を地域住民が施工する活動は、目標 9（産業と技術革新の基盤を作ろう）に貢献しています。また、若い世代に祭りの伝承や伝統技術を継承していくことは目標 11（住み続けられるまちづくりを）に貢献しています。私も「鹿島送り祭り」に行ってみたいです！今後も、水路の修繕など、地域住民と連携した活動はとても良い取組だと思いますので、これを継承して続けていただき、より地域が発展できるよう、これからも活動を応援していきます！



etc.

■ 1. 活動組織の活動紹介(2) ～^{くまだに み と り}熊谷美土里 保全会(福井県 ^{えちぜんちやう}越前町)～ ■

～ 地区概要 ～

本組織は、福井県越前町西部に位置する四方を山に囲まれた穀倉地域で、令和4年度から広域活動組織「越前町農地水協議会」に参加し取組みを継続しています。

活動範囲は、農用地 851a、水路 3.4 km、農道 2.8 kmです。

～ 主な取組 ～

- ◎ 本組織は、中山間地域の構成員 31 名の小規模集落で、農地を守りたいが活動参加者の確保が難しい状況にあったことから、NPO 法人からの提案「古熊谷あたらしい村づくりを目指して」をきっかけに、大学生や地元高校生と地域住民が協働で、水路の泥上げや獣害対策（雑木の伐採等）等の保全活動を行っています。
- ◎ 農地や遊休農用地「くまだん畑」での学生参加による伝統的農法により田植えや稲刈り、玉ねぎ栽培等の農業体験を実施しており、収穫した米は「田んぼの姫」として学生が大学でのPRと販売、野菜を使用した郷土料理を婦人会が学生に伝授する取組みも行い、地域の交流を深めています。
- ◎ また、集落内には、昔、炭焼きをした窯跡があることから、伐採した樹木で「炭づくり」を実施し、地域の伝統文化の復活と伝承に取り組んでいます。
- ◎ 「新しい村づくりは人づくり！」熊谷の価値（歴史や自然）を知り、地域を守る人を集め・育て、次世代に継承できるように取り組んでいきたいと思っています。

【熊谷美土里保全会 会長 西野良一】



学生が参加した水路の泥上げ



学生が参加した獣害対策



伝統的農法による田植え



伐採した雑木を使用した炭づくり

編集担当 SDGs コメント

大学生や地元高校生が地元住民と協働で農地や水路の保全活動を行うことは、目標 16（多様な主体の参画による地域づくりを推進する。）に貢献しています。また、伐採した樹木で「炭づくり」を実施し、地域の伝統文化の復活と伝承に取り組むことは、目標 11（住み続けられる地域をつくる。）に貢献しています。学生も積極的に活動されていますね！学生との連携は私たちも注目している取組ですので、この取組を益々深めていただくことで、熊谷の価値を広め、次世代に継承していくことを応援しています。



etc

■2. 活動組織の代表者へのインタビュー～^{なんぼたじょうこうえん}難波田城公園^{ふじみ}地域環境保全協議会(埼玉県富士見市)～■

組織の概要

埼玉県富士見市の東部の難波田城公園を中心にした地域であり、荒川と新河岸川に挟まれた水田地帯であり、県営ほ場整備事業により整備されました。周辺の宅地化により交通量が増加し、ゴミのポイ捨てや不法投棄がたびたび発生していますが、地域住民と共同で草刈りや泥上げ、ゴミ収集に取り組み、地域の環境保全に貢献しています。

当組織は地域住民や市民との農業を通じた交流と環境向上のため、広報「難波田環保たより」を配布しています。また、都市近郊であることや、近在に難波田城公園があり駐車場やトイレなどのインフラ施設が整っていることから、地元農業のPR、地元農産物の地産地消の推進等を図るため菜の花祭りや「たんぼラグビー」の開催に協力する等、地域住民や都市住民等との交流を図るイベント等を積極的に実施し、「人づくり・地域づくり・絆づくり」を進めています。

～ インタビュー ～

Q：どのような活動をしているか教えてください

A：地域の絆を深めることを目的に、様々な活動を実施しています。

農地に菜の花を植栽し、菜の花祭りを開催しています。その中で、自分たちが子どもの時分にやっていた「どじょうすくい」や「うなぎすくい」を子どもたちに体験させてあげたい、という思いから実施しています。このイベントは大人気で、多くの子どもたちの参加があるところです。

また、子どもたちに地域の自然環境へ興味をもってもらうため、生き物調査を実施し、水路に生息している生物に触れ合う機会を創出しています。あわせて、都市農村交流として地域のラグビークラブと連携して「たんぼラグビー」を実施しており、地域外を含めた多くの人の参加がある人気のイベントになっています。



役員のみなさん
会長 中氏（右）
事務局長 柳下氏（左）

Q：活動を通じて地域に変化はありましたか。

A：当組織は、特に子どもが参加できるイベントを企画し、実施しています。子どもさんが参加されると一緒に親御さんも参加することになり、これまで地域とあまりかかわる機会が少なかった方々に地域とかかわる機会を増やしています。当地域は、都市近郊ということもあり、新規住民の多い地域です。新しい住民や非農家の方が子どもと一緒にイベントに参加されることにより、地域の農業や農業用施設への理解が深まってきていると思っています。イベントの実施効果もあり、草刈りや清掃活動には多くの方が参加してくれるようになりました。

また、清掃活動を実施することにより地域のゴミや不法投棄が大幅に減りました。

地域全体で活動することにより、地域の環境を保全する意識が向上していると感じています。

Q：他の活動組織のリーダーへ伝えたいことはありますか。

A：当地域は難波田城公園があり、駐車場やトイレなどのインフラが整備されていることを活用して積極的に都市農村交流を実施しており、イベントでの農産物の販売など地域の活性化にもつながっています。

また、子どもたちを対象にしたイベントを多く開催しています。自分達が子どものころ遊んだことを体験させてあげて、喜んでいる子どもたちの笑顔を見るのは非常にうれしいことです。今後農家の高齢化や減少により草刈りなどの人出が減ってくることが予想されますが、地域の方の協力を得るにはまず、子どもたちの参加するイベントを開催することが非常に有効と考えています。子ども達が参加すると必然的に親御さんも参加されるので、その中で新たな地域のかかわりが生まれます。当組織でも、今後も子どもたち向けのイベントを積極的に開催し、地域の絆を深めていきたいと考えています。 【難波田城公園地域環境保全協議会】



生き物調査



たんぼラグビー



菜の花祭り

編集担当 SDGs コメント 

子どもたちが生き物調査を行うことは、目標4（地域内外の人に質の高い教育、生涯学習の機会を提供する。）に貢献しています。また、地元のラグビークラブと連携し、都市農村交流を図ることは、目標16（多様な主体の参画による地域づくりを推進する。）に貢献しています。「たんぼラグビー」は楽しそうですね！これからも都市農村交流によって地域が活性することを応援しています！



etc

■3. 活動組織の広報誌紹介 ～^{もりやま}森山農地保全会(長野県^{こもろ}小諸市)～■

広報誌の概要

- ◇ 年1回(4月)総会資料の中で前年度の活動の内容について、写真をふんだんに使用するとともに活動内容を詳しく紹介している。
- ◇ 文字や数字だけの総会資料にはならないよう写真を使用して活動内容を紹介している。その結果、総会資料がなじみやすい内容になっており、多くの構成員の方に見てもらえていると感じている。
- ◇ 総会資料については、構成員全戸に配布し、総会の内容及び活動内容等の周知を図っている。

～工夫しているポイント～

- ポイント1：総会資料において写真を使用して活動内容を紹介している。
- ポイント2：写真とあわせて具体的な活動内容を詳しく記載している。

ポイント1 総会資料において写真を使用して活動内容を紹介している。

総会資料についてはとかく文字や数字だけで難しい内容になってしまいがちですが、写真をふんだんに使用することにより、多くの構成員の方にみてもらいやすくなっている。

令和5年度 通常総会 議案書

と き：令和5年4月20日
ばしょ：森山公民館「大広間」



小諸市
森山農地保全会

3. その他

- (1) 大雨による土砂流失
森山下矢田967番地の北側地籍で、水路法面の土砂が水路に流入したため、令和4年8月4日(木)に土砂の撤去作業を行いました。
- (2) 排水路樹法面の補修
森山字久保地籍で、排水路(田川放流)の樹法面から土砂が大雨で流失したため、令和4年9月10日(土)に土を盛った所に保護シート張り、10月24日(月)には芝シート張りの作業を行いました。

【樹法面作業 写真】



ポイント2 写真とあわせて具体的な活動内容を詳しく記載している。

写真とあわせて工事個所や業者選定方法などを詳しく記載することにより、活動の透明性の向上を図っている。

Ⅲ 資源向上活動（施設の長寿命化）

交付金は、森山農地保全会第2期（令和2年度～）に入ってから減少傾向にあり、当初予算に対し、令和4年度の農地維持交付金は99.5%でしたが、資源向上活動（施設の長寿命化）交付金は、68.3%と減る一方にあります。

また、交付金の額が示されるのが12月前後となっているため、水路の更新・補修工事個所の選定に憂慮される状況にあります。

このような状況下、市役所農林課の担当者から、交付金額について推測される想定額を聞き、前年度繰越金と併せ、下記による工事を行いました。

1. 工事個所と内容

- (1) 工区Ⅰ 市字立久保762-3番地東側で、水路経年劣化のため、2.6mの更新工事
- (2) 工区Ⅱ 市字立久保715-1番地南側で、水路経年劣化のため、4.9mの更新工事

2. 入札依頼業者と結果

- (1) 工区Ⅰ 入札依頼業者：(有)塩川工務所、(有)浅間総業の2社
落札は(有)塩川工務所で、工事請負契約書を交わしました。
- (2) 工区Ⅱ 入札依頼業者：(有)竹之内建設、(有)山岸設備、(株)藤森住建の3社
落札は(有)竹之内建設で、工事請負契約書を交わしました。

3. 工事代金

- (1) 工区Ⅰ 支払先：(有)塩川工務所。 924,000円(税込)
- (2) 工区Ⅱ 支払先：(有)竹之内建設。 1,562,000円(税込)
- (3) 設計料 支払先：(株)浅麓開発。 372,000円(税込)

4. しゅん工

- (1) 工区Ⅰ 令和4年12月12日
- (2) 工区Ⅱ 令和4年12月15日

写真 工区Ⅰ



【写真 工区Ⅱ】



■4. 令和6年2～4月多面的機能支払イベントカレンダーを作成しました！■

多面的機能支払交付金の情報発信として、本交付金に関する各地のイベントの日程などをまとめたイベントカレンダーを作成しました。より本交付金を学びたい方や他組織の活動の様子を参考にさせていただくなど、多くの方に活用していただきたいです！本メルマガ掲載時より、イベントの情報が更新される可能性があるため、詳細は問い合わせ先までご確認ください。

月	日	都道府県	イベント名（主催者）	備考	問い合わせ先
2月	8日	鳥取県	令和5年度多面的機能支払研修会 （鳥取県農地・水・環境保全協議会）	・主催者ホームページに公開予定 http://www.totirengogonet.or.jp/kyogikai/	・主催者問合せ先 （0857-38-9500）
	9日	兵庫県	多面的機能支払交付金に係る研修会（中播磨・西播磨）（兵庫県推進協議会）	・協議会 HP に掲載； https://hyogonouchimizu.com/event/2808/	・問合せ先 078-362-3431
	22日	兵庫県	多面的機能支払交付金に係る研修会（神戸・北播磨・東播磨）（兵庫県推進協議会）	・協議会 HP に掲載； https://hyogonouchimizu.com/event/2808/	・問合せ先 078-362-3431
	27日 28日	山形県	現地確認用タブレットシステムと活動区域作成に関する説明会 （山形推進協議会）	・協議会 HP に掲載	
3月	1日	埼玉県	関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰表彰式 （関東農政局）	関東農政局ホームページに公開予定	
	14日	静岡県	農村再生デザインセミナー （静岡県）		
	下旬	滋賀県	滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会総会 （滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会）		滋賀県農政水産部農村振興課地域資源活用推進室 問合せ先（077-528-3962）
	21日	新潟県	新潟県多面的機能支払制度研修会 （新潟県）	・インターネットを利用したLIVE 配信予定 ・新潟県ホームページに公開する予定	
4月	中旬	山形県	市町村担当者初任者研修会 （山形県推進協議会）	・協議会 HP に掲載	

■ 編集後記 ■

読者の皆様、こんにちは。新しい年を迎えました。今年もよろしくお願いたします。

令和6年能登半島地震により、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみを申し上げますとともに、被災された全ての方々にお見舞いを申し上げます。

多面的機能支払交付金の担当者としてできることを精一杯していきたいと思ひます。

正月から地震や飛行機事故が起きて辛い気持ちになりましたが、今年は今まで以上に公私ともに色々な経験を積み重ねていきたいと思ひます。

寒さが厳しくなってきましたが、皆様どうかご自愛ください。

◇多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」バックナンバー◇

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/tamen_siharai/nouson_furusato_hozen/index.html

バックナンバーはこちらの二次元バーコードからもご覧いただけます！→

◇「多面的機能支払交付金のロゴマーク」◇

ロゴマークは以下のサイトからご利用になれます。

活動内容の紹介や広報の発信などに、どんどんご活用ください！！

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/attach/pdf/tamen_siharai-31.pdf

◇配信先メールアドレスの変更・配信解除等◇

メールアドレス等の変更やメールマガジンの配信解除等は以下のサイトから。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/>

手続きにはパスワードが必要です。

お忘れの場合は、以下のサイトでパスワードを再発行して下さい。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/re.html>

◇多面版SDGs アイディアシート（案）◇

SDGs アイディアシートのダウンロードは以下のサイトから。

https://www.maff.go.jp/j/nousin/kanri/jirei_SDGs.html

◇ご意見・ご感想等◇

メールマガジンに関するご意見・ご感想や取り上げて欲しいテーマ、ご自身の所属する活動組織の紹介文（300字程度）等に関するメールをお待ちしております！！

tamen_ml@maff.go.jp



-----【発行】-----

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省農村振興局整備部農地資源課
多面的機能支払推進室（担当：細川、渡邊）
TEL：03-3502-8111（内線5493）